

立ち作業用 歩行椅子「一休さん」 保証書

商品番号	FLM-0018	
お客様 様	お名前	様
	ご住所	
取扱販売店名・住所・電話番号		
保証期間	お買い上げ日	本体1年間 (消耗部品・付属品は適用外)
	年月日より	

持込修理

本書は、記載内容の範囲で無料修理をさせていただきますことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店に修理をご依頼のうえ、本書をご提示ください。お買い上げ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効となります。記入のない場合は、お買い上げ販売店にお申し出ください。

ご転居、ご贈答品の場合は、お買い上げの販売店または弊社にご相談願います。

本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

株式会社 **フォーライフメディカル**  
〒534-0022 大阪市都島区都島中通3-20-18  
TEL06(6928)7028  
http://www.forlife-m.com/

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書・本体警告ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合にはお買い上げの販売店が無料修理いたします。
- 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
  - (イ) 本書のご提示がない場合。
  - (ロ) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
  - (ハ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
  - (ニ) お買い上げ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
  - (ホ) 火災・公害および地震・雷・風水害その他天災地変などの、外部に原因がある故障・損傷。
  - (ヘ) 以下の消耗部品については無料修理の適用外です。
    - 座面 (サドル)
    - キャスター

- 本書は日本国内においてのみ有効です。
  - ★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
  - ★保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合はお買い上げの販売店または、弊社にお問い合わせください。

修理メモ

〈製造・販売〉

株式会社 **フォーライフメディカル**  
〒534-0022 大阪市都島区都島中通3-20-18  
TEL06(6928)7028  
http://www.forlife-m.com/

〈企画・設計〉

**日本ロボティクス株式会社**  
〒121-0836 東京都足立区入谷5-15-18

安全で快適にご使用いただくために!

立ち作業用 歩行椅子 **「一休さん」** 取扱説明書

この度は歩行椅子「一休さん」をお買い上げいただきまして、有難うございます。

東京電気大学  
日本ロボティクス株式会社  
(足立区FC企業)  
共同開発



警告

- 歩行椅子「一休さん」は自転車ではありません。道路では絶対に乗らないでください。
- ご使用前に本書を必ず読んで、正しい乗り方と「危険なこと」・「してはいけないこと」をよく理解してください。

本書および品質保証書について

- 品質保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、お店からお受け取りください。

株式会社 **フォーライフメディカル**

## 警告表示

⚠ 警告表示は危険度・重要度の程度に応じて次の区分で表示しています。これらを守らないと事故につながったり、ケガをしたり、歩行椅子がこわれるなどのおそれがあります。

### 表示の意味

**⚠ 警告** この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、使用者が「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

**⚠ 注意** この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、使用者が「傷害を負ったり、物的損害を負う可能性が想定される」内容です。

**🚫 禁止** この表示の欄は、「安全上してはいけない危険行為および保証範囲外の行為を表す」内容です。

**❗ 強制** この表示の欄は、「使用者に必ず実行していただく」内容です。

## 警告

- 安全快適にご使用いただくために、必ずこの「取扱説明書」と添付の保証書をよく読み、理解してからお使いください。
- まちがった取り扱いや調整は事故につながる危険があります。警告、禁止、注意、強制事項を必ず守ってください。
- 乗るまえの「日常点検」と、お店にお願いする「初回点検・定期点検」を必ず実施してください。故障、修理などで部品の交換が必要な場合は、必ず当社純正部品を使用してください。
- この歩行椅子を他人に譲るときには、この「取扱説明書」と添付の保証書をいっしょにお渡しください。
- 取り扱い方がわからないときは、お買い求めのお店にご相談ください。

## 【もくじ】

■警告表示	1
■組立図	2
■各部のなまえ	2
■安全上のご注意	3
■点検方法	4
■各部の調整方法	5
■乗りかた	6
■お手入れと保管	6

## 組立図

### サドルを取付ける

●サドルの高さ調整はP5の調整方法をご覧ください。

挿入限界標識 (MAX)

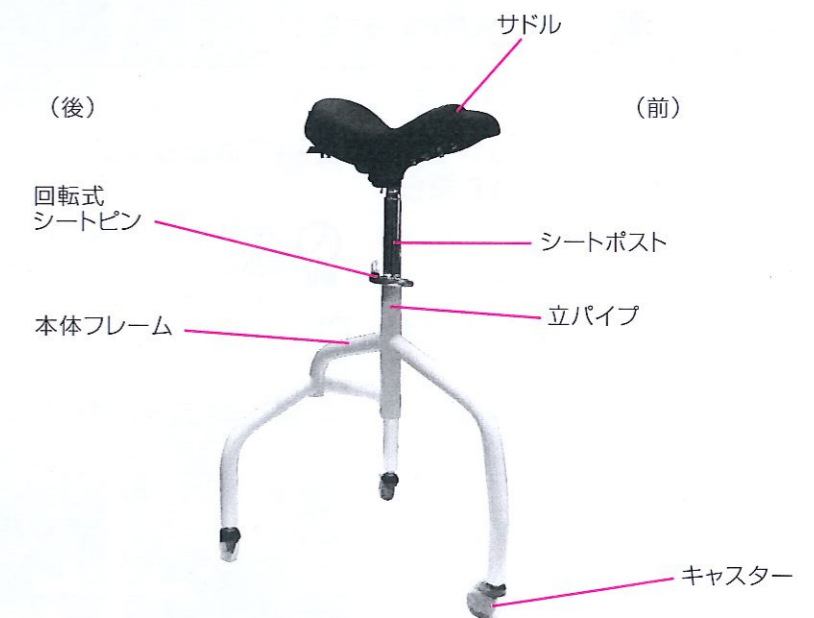
シートポストのはめ合わせが限界標識が見えなくなるまで立パイプに入れてください。



※締め方が緩いとサドルの高さが維持できなくなり、サドルが下がってしまいます。その場合はここが原因です。

- ①シートピンレバーをゆるめるとサドルを上下に調整できます。
  - ②固定は、右側のシートピンレバーを締め付けて固定してください。
- ※シートピンの調整方法はP5の調整方法をご覧ください。

## 各部の名前



## 安全上のご注意

**⚠** お使いになる人や他人への危害、財産の損害と一輪車がこわれることを未然に防止するために、必ずお守りください。

**⚠ 警告** (危険です!乗る前に必ず点検してください)  
※異常を発見したら使用しないでください。

### 本体(フレーム)に変形やヒビ割れはないか

**⚠ 注意** 走行中にこわれて事故・けがをおこすおそれがあります。

### サドルのポストは限界標識がかくれるまで差し込まれているか

**⚠ 注意** サドル(ポスト)の折れや抜けにより事故・けがのおそれがあります。

### キャスター(車輪)の固定は十分か

**⚠ 注意** 走行中にこわれて事故・けがをおこすおそれがあります。

### サドルの固定は十分にネジがゆるんでいないか

**⚠ 注意** 安全な歩行ができなくなり、事故・けがのおそれがあります。

**⚠ 警告** (危険です!必ずお守りください)

### 引っかかりやすい服装やすべりやすい靴、かかとの高い靴などをはいて乗らない

**⊘ 禁止** 事故・けがのおそれがあります。ズボンのすそはセイフティバンドやクリップなどでとめて乗ってください。

### 体調が悪いときは乗らない

**⊘ 禁止** 事故・けがのおそれがあります。体調不良の時は、使用しないでください。

### 道路では乗らない

**⊘ 禁止** 自転車ではありません。事故でけがをしたり、他の人にけがを負わせるおそれがあります。

### 初回点検・定期点検は必ず実施する

**!** 長く使っているとネジがゆるんだり調整がズレたりしてきます。必ず実施してください。

## 点検方法

**!** 「初回点検」・「定期点検」・「乗るまえの点検」を必ず実施してください。  
**強制**

### 【初回点検】

- 購入後、2ヶ月以内に点検をしてください。初期の内は特に「シートピン」・「キャスター」のネジがゆるみやすいので、しっかりと固定していることを必ず確認してください。

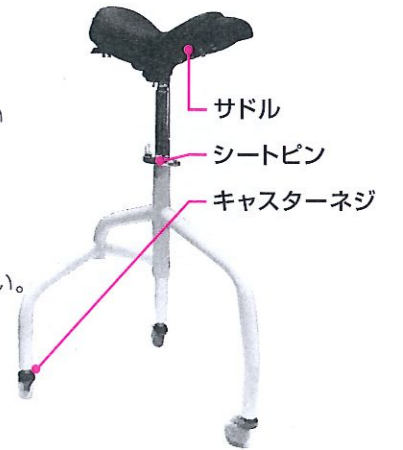
### 【定期点検】

- 購入後6ヶ月、12ヶ月以内、その後は1年ごとに点検をしてください。安全に長くお使いいただくために必ず定期点検をしてください。長い間使用せず、再び使用するときも点検をしてください。

### 【乗る前の点検】

- 乗るまえに必ず「サドル」・「シートピン」・「キャスター」を点検し、しっかりと固定していることを必ず確認してください。

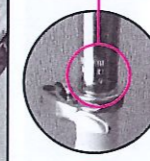
※ 固定後は、安全が確保された場所で必ず試乗を行ってください。



### サドル

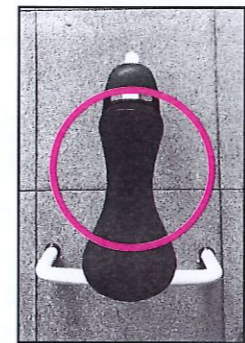


限界標識



**⊘ 禁止**  
挿入不足で使用しない。

- サドルの固定 (本体に固定し、サドルの上から荷重をかける) 荷重をかけても下がらないことを確認する。
- サドルの損傷
  - ※ 著しい割れやバリがないこと
- サドルの組付
  - ※ 限界標識がかくれるまで差し込まれていること。
  - ※ サドルが前車輪中心と合っていること。



### サドルの取付角度の調整方法

サドルの位置が真っ直ぐになっているか確認しながらシートクランプのネジを締めて固定します。レバーを開閉してゆるめて / 締めてください。※ P5 を参照してください。

## 各部の調整方法

安全を確保するために、各部の調整は注意点を守って確実に行ってください。  
これを怠りますと思わぬ事故につながります。ご不明な点がございましたら、お店にご相談ください。

**△ 注意** (安全のために必ずお守りください!)

### サドルの調整のしかた

#### サドルの高さ

△ 警告: 最も高くした場合でも、シートポストのはめ合わせ限界標識が見えなくなるまで挿入してください。限界標識が見えていると、サドル(シートポスト)の折れや抜けにより事故・けがのおそれがあり危険です。

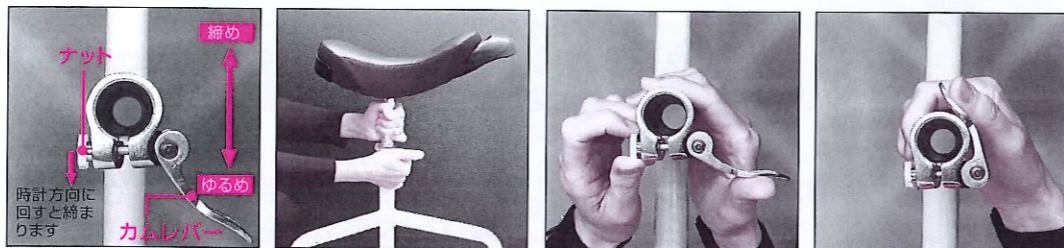
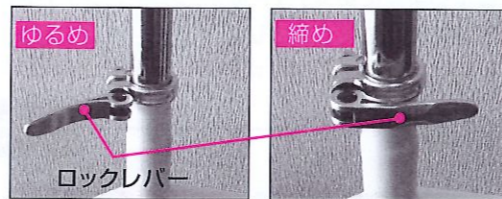


挿入限界標識 (MAX)



### クイックレバー式シートピンの調整方法

△ 注意: クイックレバー式シートピンは、シートレバーを開閉して「締め」「ゆるめ」をおこないます。シートレバーを回して締め付けるものではありません。



①レバーを開く。 ②サドルを最適な高さに調整する。 ③サドルを正面に向ける。 ④レバーをしっかりと閉める。  
固定する箇所の内を小さくすることによって、サドルを固定しています。 サドルの位置が真っ直ぐになっているか確認しながらロックレバーのネジを締めて固定します。 ある程度ナットを締めて、ロックレバーを倒して固定すれば、ゆるみにくくなります。 ロックレバーを倒しこむことでしっかりと固定されます。少々固いと思われるくらいが適正な締め具合です。

**禁止**

- 腰痛の方、体の固い方、機敏性のなくなっている方のご使用はお止めください。
- 耐荷重は80kgまでです。それ以上の方のご使用はお止めください。
- 滑りやすい床・柔らかい床・凸凹している床で使用しないでください。
- 段差や傾斜している場所では使用しないでください。
- 歩行椅子の移動範囲に障害物を置かないでください。
- 危険物を取扱いする作業時には使用しないでください。
- サドルのネジ、高さ調節のネジはゆるみの無いこと。しっかりと締めてください。

## 乗りかた

### 【ムリのない乗車姿勢を…】

正しい乗車姿勢で乗るようにしてください。  
まず、サドルの高さと方向を調整します。(p5参照)  
サドルの高さは、かかとがやや浮くぐらいの高さが動きやすいです。  
サドルに乗るときは、サドルの前を手で押さえながら後から乗るとラクに乗れます。



### 【でこぼこのない場所で】

- 歩行椅子の乗り降りは、平坦な場所で行ってください。(歩行器が動きバランスを崩し、転倒・転落事故等の原因となります)
- 歩行椅子は、室内の平坦な場所で使用してください。(転倒・転落事故等の原因となります)
- △ 注意: 滑りやすい床、柔らかい床、室外や道路では乗らないでください。



### 【動きやすい服装で】

基本は長ズボンに運動靴という動きやすいスタイルがよいでしょう。

- ※ 裾の広がったズボンの場合はズボンクリップでとめる。
- ※ スカートはサドルに引っかかって、転倒事故の原因となります。
- ※ スリッパも正常な歩行を妨げますので、かかとのある運動靴をおすすめします。



## お手入れと保管

### 【お手入れのしかた】

- 乾いた布でホコリや汚れをよく落としてからお手入れしてください。塗装部は、「ワックス」でみがいでください。

### 【保管するときは】

室内で雨のかからない乾燥した場所に保管してください。